



親子木工教室（7月子ども体験教室）

7月30日(土)、光井さん、岩尾さんの2名の方を講師にお迎えして、子ども体験教室で「親子木工教室」を行いました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、15名の参加でした。

今年の題材は「いす」。釘の本数が多く、それが一番大変でした。ところどころ講師の先生の手助けを受けながら、それぞれのペースで作っていきました。

はじめはのこぎりの引き方やくぎの打ち方がうまくいかない子どもたちでしたが、次第にコツをつかんでいき、最後にはくぎを打ついい音が聞こえてきて、上手になったことがよく分かりました。

2時間余りの作業で、夏休みの親子のふれあいと宿題づくりができた貴重な体験でした。



学級の活動紹介Ⅲ(「人権学習」…麻生高齢者学級)

8月の学習は人権についてでした。人権を侵害している人は、相手の人権について全く気付いていなかったり、そのことが相手にとって深刻な問題であるという認識に欠けていたりします。また、日常生活の中で知らず知らずのうちに「思い込み」や「決めつけ」などの固定概念や誤った認識や偏見を持ってしまいがちです。

他にも、戸籍謄本や住民票の本人通知制度の学習、新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別をなくす学習、部落差別解消推進法などの人権に関する3つの法律の学習などをしました。

人権学習は、他人の為でもありますが、自分が差別者にならないためのものでもあります。しっかり意識をしてすべての人の人権を大切にしたいものです。



「警察官講話」（天津高齢者学級）

7月の学習は、警察官による「詐欺」と「交通安全」についてのお話でした。

「詐欺」では、「架空請求詐欺」に遭わない、お金をだまし取られないようにするために、①犯人と電話で話をしない、②犯人がだます手口を学習する、③だまされても犯人にお金を渡さない等、日頃から警戒することの大切さを学びました。

また、「交通安全」では、車を運転するときの歩行者に対する心構えとして、歩行者は①確認しないまま渡る、②左を見ないまま渡る、③信号を無視して渡る、④車の直前直後を渡る、⑤斜めに渡る、⑥横断歩道以外を渡る等の傾向があるので、注意してくださいとのことでした。

